

# 美濃 徳川領国への道

江戸時代の美濃は、最大20万石近くの幕府領が設定された、徳川氏の領国とも言うべき地域でした。しかし美濃は、徳川氏の元からの領国ではありません。

戦国時代末期、美濃は織田信長の本拠地であり、また豊臣秀吉にとっても重要な領地でした。徳川氏が美濃に本格的に勢力を伸ばすのは、家康が関ヶ原合戦で勝利した後のことです。

本展では、岐阜県歴史資料館所蔵資料により、織田・豊臣両氏の領国であった美濃が、関ヶ原合戦後、徳川氏の領国となっていく様子を紹介します。

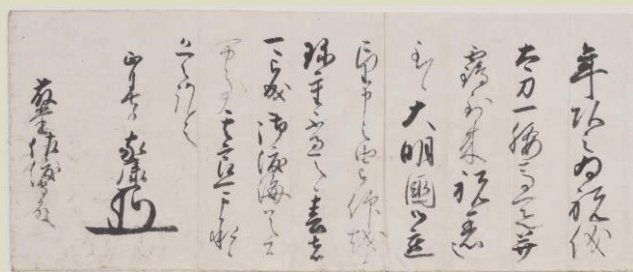
## 関ヶ原御陣場図(部分)

慶長5年(1600)の関ヶ原合戦における東西両軍の動きを記した絵図。東軍は赤丸、西軍は黒丸で表されています。



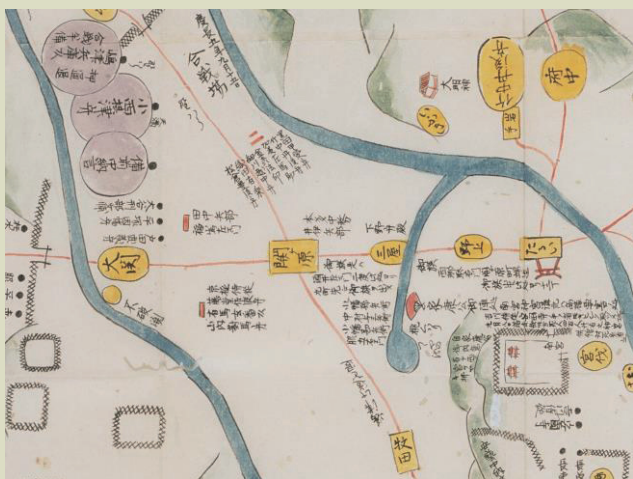
## 徳川家康画像(東京大学史料編纂所模写・部分)

徳川家康(1542~1616)は、三河国(愛知県)の大名です。豊臣秀吉により関東に転封され、江戸を本拠としました。慶長5年(1600)、関ヶ原合戦に勝利し、その3年後、江戸幕府を開きました。



## 徳川家康書状(部分)

文禄2年(1593)、後に腹心となる藤堂高虎に宛てた書状。この時の家康は、まだ豊臣政権に臣従する大名の一人でした。



令和5年 **10月14日(土)~11月26日(日)**

◆ 会場 **岐阜県博物館 本館4階企画展示室**

※期間中開催 県博物館特別展「出かけよう! 0→3,000mの旅」

◆ 開館時間 (10月) 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

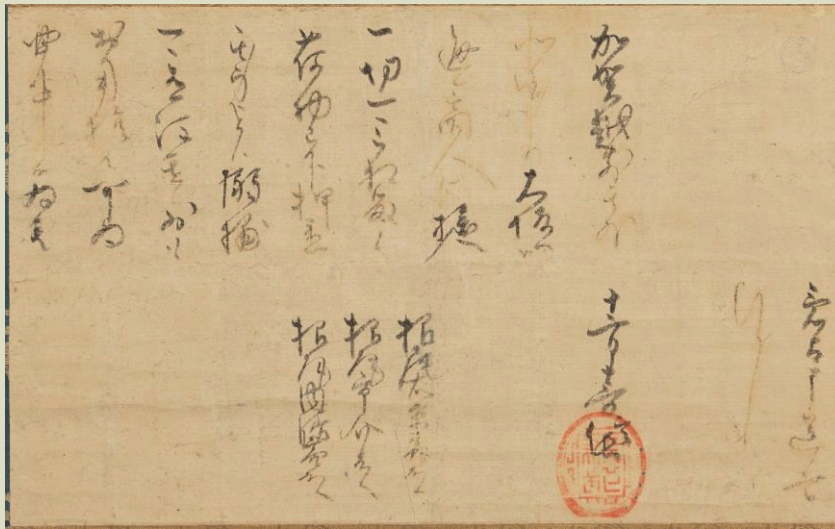
(11月) 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)

◆ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

◆ 観覧には入館料(特別展開催中)が必要です

一般600(520)円、大学生300(200)円、高校生以下無料 ※( )内は20名以上の団体

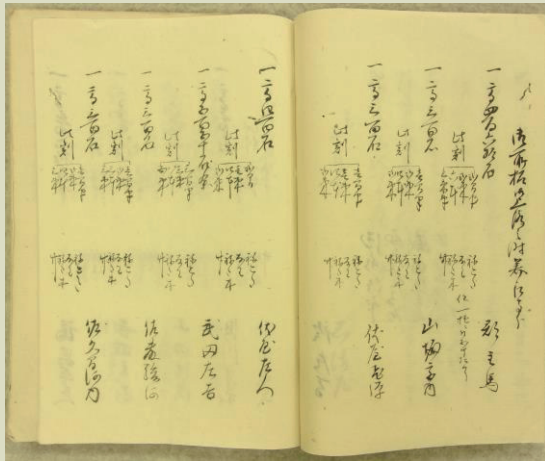
◆信長、美濃の武士に命令する



織田信長朱印状

元龜2年(1571)、織田信長が根尾(本巣市)の根尾三人衆に宛てた書状。敵対していた大坂の石山本願寺と越前の朝倉義景との連携を防ぐため、加賀・越前その他北国から大坂に行く商人・旅人の通行を止めるように命じています。

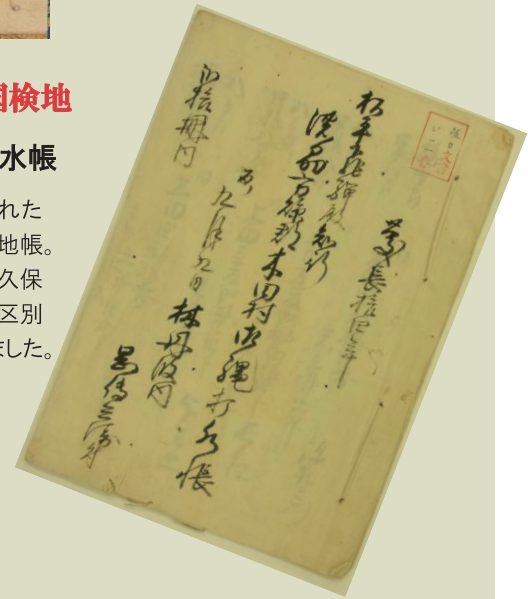
◆徳川家康上洛における船橋架設



◆徳川氏による美濃一国検地

濃州方県郡木田村御縄打水帳

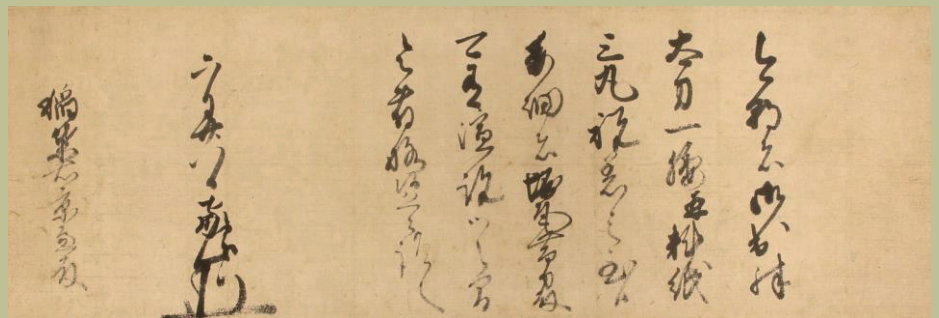
慶長14年(1609)に作成された加納藩領木田村(岐阜市)の検地帳。慶長14~15年、徳川家臣大久保長安を中心に、幕府領、私領の区別なく、美濃全域で検地が行われました。



亥年濃州江渡・美江寺・呂久船橋道具割帳

慶長16年(1611)、徳川家康上洛時、美濃の河渡(岐阜市)・美江寺・呂久(瑞穂市)に架設された船橋資材の割り当て記録。徳川家臣だけでなく、美濃に領地を持つ豊臣家臣も資材を負担しました。また船は美濃だけでなく、尾張(愛知県)、伊勢(三重県)からも集められました。

◆会場では岐阜県博物館所蔵の関連資料も展示します



徳川家康書状(岐阜県博物館所蔵)

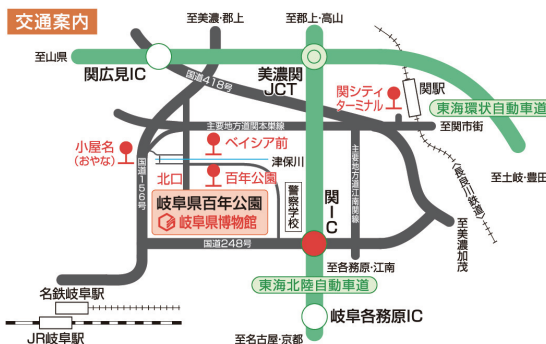
美濃国曾根城・八幡城の城主を経て、のちに豊後国臼杵藩主となる稲葉貞通から太刀・料紙を贈られたことに対する家康の礼状。

初公開!

◆会場のご案内

※本企画展の会場は、岐阜県博物館です。

- ・東海北陸自動車道 関インターから 車で5分
- ・岐阜バス (小屋名バス停下車徒歩約20分)
- ・関シティバス (百年公園バス停下車徒歩約5分)



◆主催 岐阜県歴史資料館

〒500-8014 岐阜市夕陽ヶ丘4  
電話 058-263-6678

◆会場 岐阜県博物館

〒501-3941 関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)  
電話 0575-28-3111(代)